

パン・アキモト社長 秋元 義彦



## 至言 提言 とちぎの 現場 から

当社の玄関から入った通路には「ありがとうカードが増えてきて、驚いていま

さいなことから、重大なことまでさまざま。短い

要でした。

ではないかと予想します。

書かれていた内容は、さ

「誰にでもできる」「公

平に扱う」「継続性を持たせる」などの工夫が必

た。たったこれだけです。

それを実践し、解決す

本各地で見受けられま

員が掲示板に貼る。それ

は、恥ずかしく思うこと

以降、「絆」の言葉が日

…。Dより」

### ありがとうカード

## 支え合う「潤滑油」

ード」が、びっしりと貼られていきます。約二年前、知人の会社の「サン

仕組みは以下の通りです。

一言から、詳しいことまで書く社員もいます。

でも忙しいのに手伝ってくれてありがとう。Bより

し、継続させるため、四

始めました。

社員間で「ありがとう」と思ったら、所定の

箱から名刺大の専用カードを一枚取る。感謝の気

「Cさん、ミスを見つけてくれてありがとう。

会で、ありがとうカードを「多数書いた人」「多

当初は一月に一けた

くらしい提出でしたが、

取ることや、相手に面と

おかげでお客さまに迷惑

を贈って表彰しています。

昨年から急激にその数が

持ちを記し、所定のポスト

取ることや、相手に面と

おかげでお客さまに迷惑

を贈って表彰しています。

当社では、それを推進

かも知れません。

解し、支え合っていくた

め「潤滑油」になるの

る」ことが、会社とい

小さなチームで互いに理

「相手を認め、感謝す